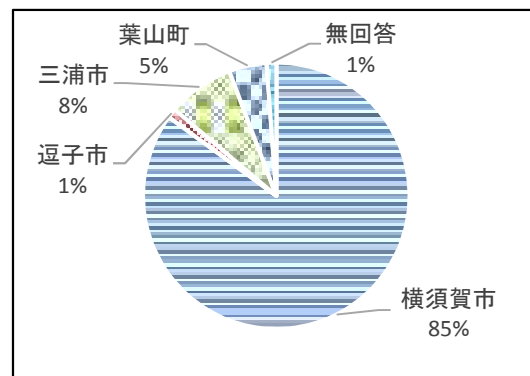


平成30年度 ケアマネジャーのための在宅療養セミナー基礎講座アンケート

開催日：平成30年6月14日(木)
会場：横須賀市役所 本庁舎3号館5階 正庁
参加者数：90名
アンケート回収数：87件

事業所の所在地

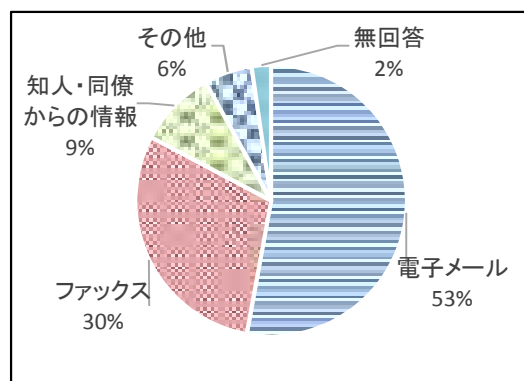
横須賀市	74
逗子市	1
三浦市	7
葉山町	4
無回答	1
合計	87



問1 このセミナーを何で知りましたか

電子メール	46
ファックス	26
知人・同僚からの情報	8
その他	5
無回答	2
合計	87

※重複回答含む

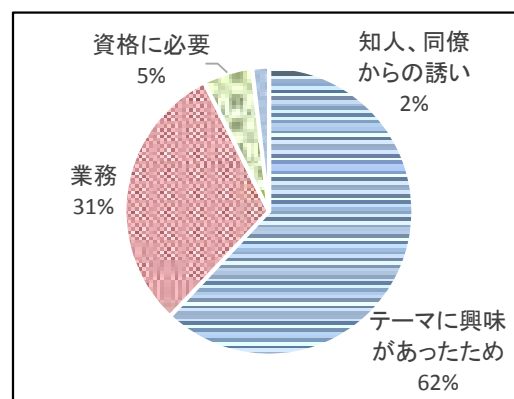


問1 その他(別紙参照)

問2 なぜこのセミナーに参加されたのですか

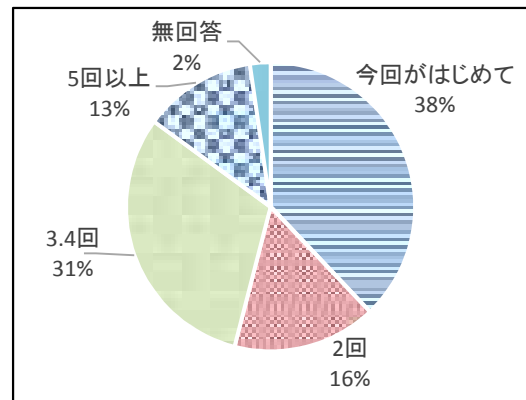
テーマに興味があったため	67
業務	33
資格に必要	6
知人、同僚からの誘い	2
合計	108

※重複回答含む



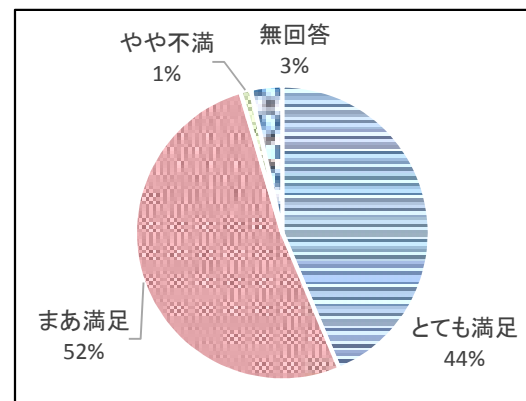
問3 これまでにどのくらい参加したことがありますか

今回がはじめて	33
2回	14
3.4回	27
5回以上	11
無回答	2
合計	87



問4 今回のセミナーの内容はいかがでしたか

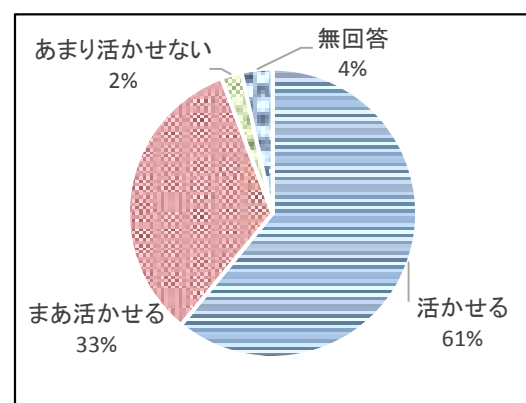
とても満足	38
まあ満足	45
やや不満	1
無回答	3
合計	87



問4 理由(別紙参照)

問5 業務に活かすことができそうですか

活かせる	53
まあ活かせる	29
あまり活かせない	2
無回答	3
合計	87

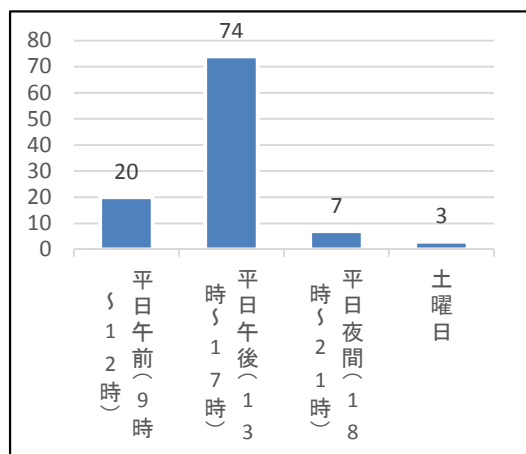


問5 理由(別紙参照)

問6 出席しやすいセミナーの開講時間帯はどれですか

平日午前(9時～12時)	20
平日午後(13時～17時)	74
平日夜間(18時～21時)	7
土曜日	3
合計	104

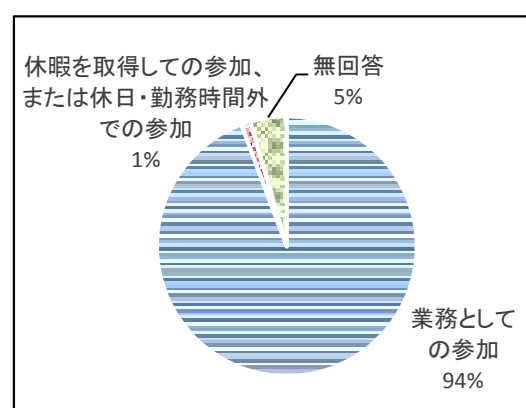
※重複回答含む



問7 今回のセミナーへの参加形態はどれですか

業務としての参加	83
休暇を取得しての参加、 または休日・勤務時間外での参加	1
無回答	4
合計	88

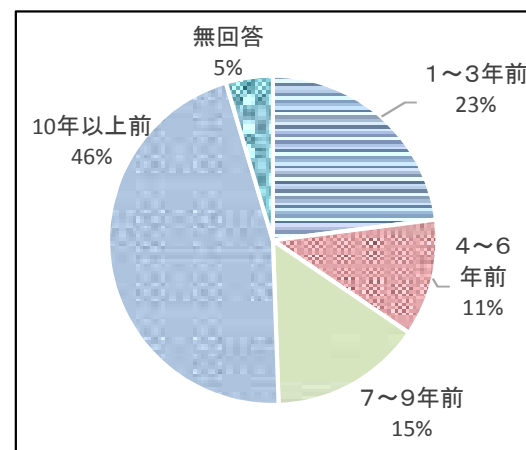
※重複回答含む



問8 今後取り上げて欲しいテーマは何ですか(別紙参照)

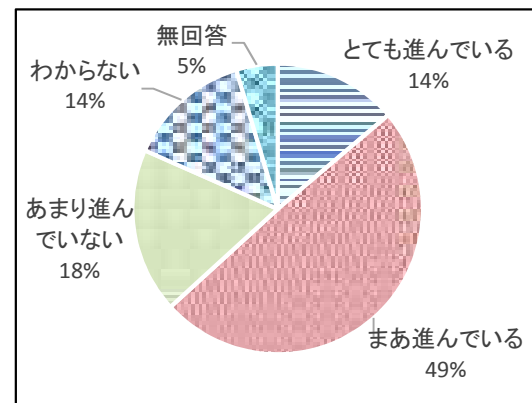
問9 三浦半島地域にて、医療・介護関連業務に携わったの時期はいつからですか

1～3年前	20
4～6年前	10
7～9年前	13
10年以上前	40
無回答	4
合計	87

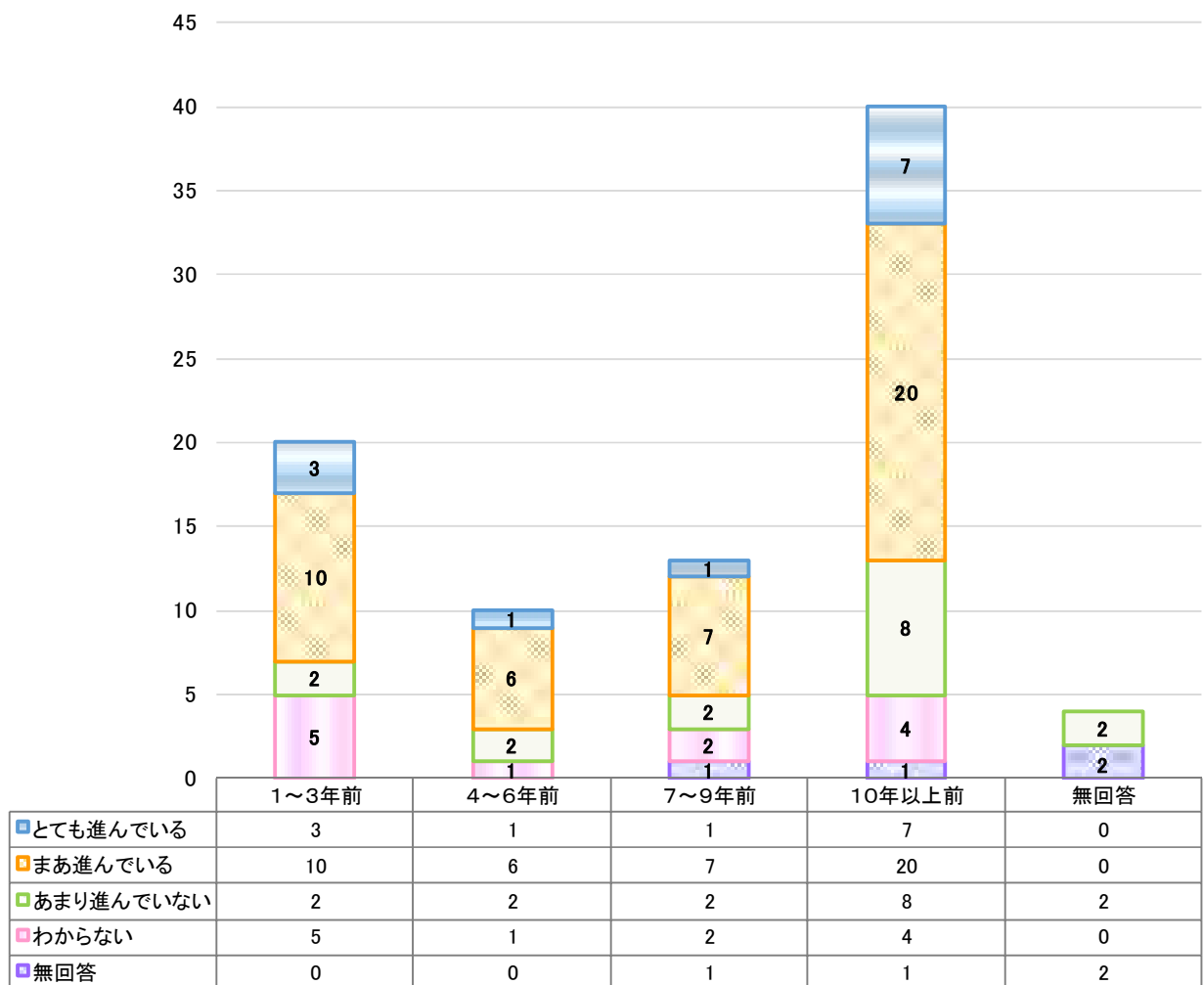


問10 以前と比べて、業務がスムーズに行えるなど多職種の連携が進んでいると思いますか

とても進んでいる	12
まあ進んでいる	43
あまり進んでいない	16
わからない	12
無回答	4
合計	87



問9・10のクロス集計



問11 感想(別紙参照)

1 のその他(このセミナーを何で知りましたか)
・職場のチラシ。
・職場内の回覧。
・職場の回覧。
・町からの情報提供。

4 の理由(今回のセミナーの内容はいかがでしたか？)

・薬剤師さんの話がとても勉強になりました。

・薬剤の話はとても興味深く、該当する担当利用者に確認してみる。

・医師・薬剤師・看護師の方々と話をきかせていただいて、参考になりました。薬剤師の塚本講師のお話が分かりやすく参考になりました。お薬のこと、薬剤師さんの役割、かかり方がよくわかりました。
・訪問看護の介護保険か医療保険かで導入するかは、その方の病気によってではないのですか？基本は医師が決めると思いますが、、、富澤講師の話の内容はよく分かりませんでした。訪看の件については、あまり参考になるかは何とも言えません。

・金成先生の説明が詳しくわかりやすいです。薬の知識がなかったのでとても参考になりました。

・毎日飲んでいるのに知らない事ばかりで、薬剤師の役割がよくわかりました。

・知らないことや日頃疑問に思っていたことが理解できた。わかりやすく説明していただいた。

・見逃してはいけない症状をもっと詳しく伺いたかった。

・薬の話。いろいろとためになる内容でした。わかりやすかったです。
(ステロイド、うつのお薬etc、お客様に上手に伝えそうです。)

・講義形式でとてもわかりやすかった。

・勉強になりました。

・基礎知識の確認ができて良かったです。

・「在宅で服薬」聞き取り易く解り易かった。残薬事情を主治医全部が理解して下さると良いと思います。

・薬の説明や取り扱い方が良くわかった。注意して服薬するように利用者様に話していきたい。

・主治医との連携は、医師に気がつかってしまい、どのように連絡したらよいかわかりませんが報告の内容等がわかったのが良かったです。
・薬剤師さんとの関わりはあまりありませんでしたが、今後は関わっていこうと思いました。

・昨年と内容がほぼ同じでしたので来年以降のテーマが変更になれば有難い。

・訪看とても大切でよくお願いしていますが、ニーズがないと導入はむずかしいと思います。医師の了解を得るのがむずかしいので一所懸命やっていますが、ご家族を説得するのも時間かかるんですよー！家族が訪看を知りません！！

・制度面など再確認することができました。

・薬剤師のお話がとてもためになった。セミナー歴史7年目となるが初回参加のケアマネジャーも多くいたので内容は初歩的なことでもいいのかと、、、
・もっと詳しい内容、ほり下げた内容は各ブロックで行われているかな？

・医療サイドも介護との連携を求めていることが伝わった。

・勉強になりました。わかりやすかったです。

4 の理由(今回のセミナーの内容はいかがでしたか？)

- ・医師・薬剤師・看護師の各方面からの話が聞け、とても満足しています。
- ・残薬に関してのあつかい方、どうしてもかくして出してくれない方もいるのでちゃんと使用できるようにしてもどしてくれると聞けば、出してくれるかもしれない。
- ・特に薬については知識が足りないなかで、注意点等丁寧に説明して下さいだったので。
- ・薬剤の勉強になった。
- ・前回参加してから介護保険の改正があり、その改正でターミナル患者の関わりや医療との連携強化についての話をきくことができ、勉強になりました。
- ・時間がタイトで忙しかった。
- ・内容は充実していたと思います。
- ・医師との連絡方法が分かると尚良かった。
- ・医療についての知らなかった知識を得ることができました。
- ・訪問診療と往診の違いを知る事ができた。
・薬に対する間違った知識を知る事ができた。
・訪看はターミナルになる前に、信頼関係をつくるために早く導入をとの事はよく理解できた。
- ・薬剤師の話は興味がわいた。
- ・今まで知らなかった医療の知識を得る事ができた。
- ・医師との関係づくり。伝達のコツ。残薬の活用。正しい薬の服用について。
- ・医療・特に医師の先生が身近な存在に思えた。

5 の理由(今回のセミナーに参加して、業務に活かせることが出来そうですか?)

・独居の方のお薬管理。

・医師との関わりを持つ時に伝達のコツを意識したい。

・主治医への連絡・伝達のコツはとても役に立ちます。

・すみません少し長すぎて頭に入らなくなりました。

・ご利用者様の為に。

・医師の話は毎月のモニタリングに役立つ。

・知識が増えて生かせる。

・知らなかったことを学ぶことができた。また改めて確認できることもあった。

・医師側の介護保険の理解が乏しい。

・薬の相談を主治医にする前に、薬局へ相談する事が理解できたので活かしたい。

・残薬確認等行っていこうと思いました！

・残薬に関して利用者に介入していきたい。

・訪看の加算等については、CMは理解している内容である。もっと事例を多く聞かして欲しかった。

・気楽に関わりがもてそう。

・だが、Drも理解されていない事も有る。まずは、そちらからでは。

・Drと訪看はあまり活かせませんでした。具体的な話が少ない。薬剤師さんの話は具体的でよくわかる。

・有効活用できる事を沢山教えて頂けましたこと、心より感謝いたします。

・薬剤師にもわからないこと等は積極的に伺って行こうと思う気持ちになりました。

・おくすり手帳で薬局に情報が伝えられることを知った為。

・薬剤の居宅療養管理指導の利用者が増えてきているので、かわり方が役に立った。

・先生とのコミュニケーションのとり方が学べた。

・在宅での生活を継続させる事がケアマネの仕事であり本人のニーズとして一番多くあげられる言葉だから。

5 の理由(今回のセミナーに参加して、業務に活かせることが出来そうですか？)

- ・在宅医療はケアマネジャーとしてとても大切に医療に関するサービスは今後使っていくので。
- ・薬剤の管理、医師や薬剤師への報告をもっとした方がよいと思った。
- ・今後、訪問診療が必要な利用者がいた場合にどんな手順でつなげるかが学べたので業務に活かすことができそうです。
- ・医師との連携の際の対応。
・残薬確認。
- ・薬剤については、大変参考になりました。
- ・医療(膀胱カテーテル、人工肛門、胃瘻)について確認できた。在宅医が望まれている事例も理解できたと思う。
- ・訪問診療で対応可能な診療が分かり参考になった。
- ・独居の方の服薬管理。
- ・薬の事に対し、もっと薬剤師とのかかわりをもちたいと思った。
- ・薬のことはとても参考になりました。誤解して認識していた事が多々ありました。
- ・特に薬剤師さんの活用について。担当ケースに生かしていきたいと思った。
- ・薬の値段。残薬問題について。薬剤師との活用について。
- ・思い込んでいたことが誤りであることがわかった。
- ・薬剤師の講義がとても興味深かった。Dr指示で処方されている薬だが飲み方も大事だと改めて感じた。
- ・特に薬剤師さんの話が具体的に活用できることが多いと思いました。

8 今後取り上げてほしいテーマはなんですか
<ul style="list-style-type: none"> ・退院時に在宅療養に切り替わる時、スムーズな流れになるにはどのようにすれば良いか？ ・ターミナルの方の在宅での不安解消にはどのようにすれば？
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅で気道切開・在宅酸素、胃ろう、1時間おきの吸引が必要な利用者を担当してます。レスパイト入院をできる条件や入院させてくれる病院を知りたいです。 ・市内・外老健を全てあたりましたが短期入所として受け入れして下さる施設は1軒もありませんでした。3人の介護者で夜間も吸引を行っている状態です。在宅で過ごしてもらいたいとご家族様が決め、介護をして下さってますので、そういう医療ニーズの高い方でも在宅で生活できる環境作りをテーマにしたセミナーを開催して頂きたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・病院との連携。 ・病院の医師の連携。
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療の先生と専門別に講座を開いてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・看取りについて。
<ul style="list-style-type: none"> ・医師とのディスカッション。 ・1つの事例を考察する、など。 ・居宅療養管理指導の活用について！
<ul style="list-style-type: none"> ・市オリジナルのケアマネ⇄医師 ⇄薬剤師 ⇄他医療 の「情報交換シート」みたいなものがあってこれひとつで伝えたい知りたい情報がわかりやすく交換できるものが作ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療知識がないので様々な疾患の特徴など学べる機会があれば、支援にいかせる。 ・ガン末期の方への支援。 ・疾患コントロールについて。 ・疾患別の対応。 等について学ぶ機会がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・収入の低い人達に対しての医療的ケアについて。 ・医療費(医療に係る介護の費用)どのようにしているか知りたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・障害との連携。
<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師の講義は勉強になった。もっと長い時間講義を聞きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・総合病院との連携について。 ・主治医の意見をもらいたい連絡がとりづらい。 ・情報交換方法についてどうしたらいいの？いつも思っている。スムーズにできるようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・各職種がリアルタイムに情報共有できるシステム(カナミックはいまいちでした)がほしい、共通なもの。
<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル時期の連携。
<ul style="list-style-type: none"> ・ガン末期の利用者さんについて。 ・大きな病院で在宅に替える時のタイミングやDrの考え方。家族や本人にきちんと伝わっていないことが多いので心配しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・重度・医療依存度の高い方の場合の受け入れ(レスパイト)病院について。
<ul style="list-style-type: none"> ・記録についての勉強会を開いて欲しい。とにかく書類が多すぎ。
<ul style="list-style-type: none"> ・病気の知識。

8 今後取り上げてほしいテーマはなんですか
<ul style="list-style-type: none"> ・お看取りのこと、考え方。 ・延命医療の考え方。
<ul style="list-style-type: none"> ・無理をしても(金銭的に)なぜ終末期施設を選ぶのか。どうお話ししたら在宅での見守り看取りを行っていただけるのか、安心して在宅を行わせてあげたいが方法が見つからないのです。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、うつ病、皮膚疾患(褥瘡)。
<ul style="list-style-type: none"> ・居宅療養管理指導について。住宅型に入所している要支援2の方が、訪問診療2/月にきりかえを希望した。その後、1ヶ月の内に訪問歯科2/月、訪問栄養士2/月、薬局2/月、すべてに管理指導となりました。それぞれ、医療機関から電話が入りました。本人の希望とはいえ、通院する力をもっている方だった。必要だったのか、その都度Drの訪問時に合わせ担会を行いました。サービス始まる前に連絡もらいたいことと。それほど、必要なものなのか疑問がのこる。
<ul style="list-style-type: none"> ・入院中の利用者が在宅復帰にむけて、介護と医療が連携を強化することを目指すには、今後どんなことが必要か。医療側はどんな情報を求めているのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・時間の許す限り参加したいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携の方法(具体的な例など)。
<ul style="list-style-type: none"> ・不足している医療に関するもの。
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症。
<ul style="list-style-type: none"> ・独居・認知症で服薬ができない方への対応。

11 感想

・横須賀市民病院はレスパイト入院していないとはっきり三島相談員に言われましたが、レスパイト入院されていると富澤講師がお話されましたが、何か条件等あるのですか？訪問看護ステーションにおけるリハビリについて以前、保険者に言われたのが、訪看の上でリハビリの位置づけって何？と言われたことありました。
 ・友・友訪看、富澤講師の資料P6「往診」、「往診医」と記入されてましたが、金成医師の講義で、往診≠訪問診療（じゃないよー）とお話あったのに富澤講師自体のご理解がないのではないんだなと感じました。
 ・きちんとリサーチしていただいた情報としてご講義いただけないなら、研修（セミナー）の意味ありません。訪看の方々は報告お互いに話をして連携を取る関係作りもしており、他職種だからと言って話づらいなど特に感じません。私どもの事業所のまわりの訪問看護師さんはとても良い、気さくな方ばかりですよ。

・大変勉強になりました。ありがとうございました。

・出席出来て知らなかった事が多かったので良かった。

・参加させていただきどうもありがとうございました。

・駐車券を出して欲しい。

・基礎知識の確認ができ良かったです。

・お薬の講座とても参考になりました。
 ・在宅で生かすことができることが多々ありました。ありがとうございました。

・ケアマネジャーに対しては、医療についてのセミナーはありますが、医療の方、病院の相談室、MSWの方等に対しての介護についてのセミナーの必要性もあると。同じ思いで利用者様に支援ができるのではないのでしょうか！？

・今回の研修で医療の方ともしっかりと深く関わることで医療のことをもっと学ぶことができると感じました。
 ・医師・看護師・薬剤師の方と関わるには自分も学ばなければならないので自分の経験の中で、関わったクライアントの病気を学ぶ、内服薬に居て学ぶようにしていきたいという気持ちになりました。

・統一した書類（今時紙では、、、）、システムがほしい。

・金成Dr、滑舌が悪くききとりにくかったが、わかりやすい内容だった。困ったケアマネの例などもときかして欲しかった。
 ・Drからみたケアマネを知りたいと思う。訪問看護を入れた時、DrにFaxを送っても個人院はよく理解してくれるが大きな病院ほど連携とりにくい。大病院の窓口は一本に絞ってもらえるとありがたい（地域連携室とか）
 ※早く終わった時は早く帰して下さい。

・ベテランのケアマネさんには聞きなれた内容だったと思うが、新しいケアマネさんへの参加も多かったので内容はよかったのではないかな？
 ・大きな法改正はないが法改正で、各サービス（医療系）でこんなことかわった、こんなことできなくなった、などの話がもりこまれてくれると嬉しいと思う。
 ・医療との連携は近寄りかたいこともあるが以前に比べると特にDrは心よくお話ししたりお電話で対応して頂くこともある。医師会の中でもその事はとり上げられているのではないのでしょうか。話を聞いてくれる先生は大変だと思うが、高齢者には大変ありがたい。
 ・今日の講座でDrに時間がなく、不足している部分を薬剤師や看護師の協力があって高齢者が自分の体のことを理解できるとよいと思った。

・今後は医療との連携は必ず必要ですね。

・総合病院の先生とは意思疎通がむずかしい。

・ためになりました。
 ・特に服薬に関しては、知識と根拠がわかって理解し易かったです。

・大変勉強入りました。ありがとうございました。

11 感想

・医療の知識については専門の方がこの様な形でセミナーを開いてくださることはとてもありがたいことでこれからも継続的に開催して頂きたいです。

・今後、訪問して利用者に関わる際に、医療の視点を持って(知識だけでなく利用者の不安解消のために)面接を行うことも重要と感じました。普段の業務から連携を意識しようと思います。

・急性期や総合病院とスムーズな連携が図れず困っている。窓口を統一する方法はないものか？(総合病院外来患者の訪問看護導入の為、主治医の意見を確認したいと外来窓口に伝えたら「次回受診時にして下さい」と言われたが早急な対応が必要。

・在宅医との連携をとると言っても、訪問診療の迷惑にならないようにしたいと思っています。訪問時Drとのお話ができるのですが次の訪問に支障がないのか心配です。
・色々なDrがおられるのは当然ですが、CMごときが伺ってもよいのかという思いで一杯です。医療知識が薄いのでDr用語を使用されても、、、？(訪看さんも同様ですが)。連携には神経がいらいます。

・塚本さんの話を聞きたくて参加しました。やっぱり内容がありますね。

・ケアマネジャーになり、半年ですが、薬の管理で困っているケースがあります。今日の研修で薬剤師による居宅療養管理指導について学ぶことが出来、とても良かったです。

・医師との関係づくりで「お膳立てが必要」と言われていてがっかりしました。先生はCMに歩みよる気はないのだと分かりました。
・医師・薬剤師・看護師と良好な関係を築けるようがんばりたいです。

・講義をききたいので個人的話はいらない。

・大変勉強になりました。今後の業務に活かしていきたいと思います。

・医療の知識なくして、ケアマネはできない。
・医療と連携できなければ、ケアマネはできない(地域包括ケアの必須要件)。
・薬の管理が指導できるレベルのケア間になりたい。
・訪看は急性期・ターミナルが、導入期のイメージが強かったが、早くから導入するニーズがあることを再認識した。以上再認識しました。

・訪問看護の利用について、もう少し幅広い活用をしたいと思います。